

大月の裏山?のような小山稜を歩いて見る 花咲山

実施日 2017年3月19日(日)

天候 晴れ

リーダー 涌井 良明

参加者 涌井良明、石附智江、遠井謙策、石原勝正、伊藤久雄、瀧澤きよの、白石佐恵、宮崎敏男、阿部一郎 計9名

費用 JR1,160円 車300円

タイム 大月駅(8:40)下原BS(旧大月西小学校前)(9:00)登山口(9:13)尾根に出る(9:43)女幕岩(10:00)花咲山(10:30~10:50軽食)花咲峠(11:03)又平山(11:15)大月下山口(11:30~12:00昼食)登山口舗装路(12:25)大月駅(14:00)



真木T局前の花咲山へのサインから小道へ、廃校には勿体ない立派な学校脇を通り、親切な案内のショートカット道を急登し

て登山口に出る。

良く踏まれた道を一気に尾根へと高度を上げる。南大菩薩の連なりが望めるが、遠望は春霞や花粉霞?でぼんやりしている。それでも眼下に箱庭のような山里や付近の山並みが好ましい。

割と新しめに見える導標が花咲山の水先案内(山先案内?)となっている。

立ち入り禁止の札が下がったロープをまたいだ先に女幕岩の導標があった。更に地図にも記載がある大岩を抜けると、短いもののほぼ崖の下りと足場の悪い急下降箇所になる。トラロープを掴んで慎重に通過する。



この先にも下山迄には数か所ロープが張られた注意箇所があるが、小粒の山ながらピリリ辛さもあるよ!と、存在感をアピールしているよ

うであった。

小さな登降をして正面の盛り上がりが高花咲山になる。

冬枯れを通して周囲を望め、祠には変色したお賽銭も置かれていた。少し早いので軽く腹を満たし、写真を撮って先へ。



少し下って右に派生する尾根に回り込むように下って行く。花咲山の東面が一気に落込んでいるさまはちょっと迫力だ。が、落ち込んだ先には優雅な?ゴルフ場が広がっている。

滑りやすい急坂の尾根を下ってお地藏さんもある花咲峠になり、小ピークを越し、登り返して狭い又平山に着く。大月駅へ90分とあった。

まだ昼食前だが早くもゴールの目処が見えてきた。ゆっくり・ユックリ。少し風も冷たく落ち着けそうな場所がないので先へと進み、大月への下山分岐で風もない小広い尾根上で昼食にした。

春の日差しを感じさせる暖かさを感じながらのんびりと大休止を過ごした。

さて、下山だ、と導標に導かれて下り始める。ロープのあるトラバース気味からほぼ忠実に尾根を下り、花をつけ始めた馬酔木を見て、祠に出るとすぐ下が中央高速だ。階段道になった道から高速に沿った登山口に降り立って舗装路に。あとは辻の案内に沿って大月駅に向かった。

今回は早めに駅に着き、反省会もごく短めに切り上げて帰宅になった。

たまにはマイナーで短い里山も良いですね! 途中単独の二人に出会っただけの静かな山だった。

(記&写真・涌井 良明)

(写真提供・石原 勝正)

